

システムデザイン工学科 アドミッション・ポリシー

システムデザイン工学科は、低年次では機械工学・電気電子工学・情報工学を基礎として幅広く学び、高年次では、知能工学、人間情報工学、デジタルツインの各コースにおいて専門性を深めます。修得した知識や技術を活用し、ユーザ視点から社会や人々の課題を捉え、人が人らしく豊かに暮らせる社会の実現を支えるものづくりやサービスを創出できる人材を育成します。そのために、システムデザイン工学科は、以下のような人物を求めます。

求める人物像

1. 人が人らしく豊かに暮らす社会・未来の実現に、工学の専門性から貢献したいという想いを持っている人
2. ものづくりを通じたシステムやサービスの創出に向けて、柔軟な発想とチャレンジ精神を持っている人
3. 社会や人々の課題に関心を持ち、基礎から専門まで広い領域での知識を深め、経験を積み重ねながら、粘り強く学び続ける姿勢を持っている人

入学前に学習しておくことが期待される内容

システムデザイン工学科では、社会や人々の課題を設定し、幅広い工学的知識や技術を活用して、多様な人々と協働しながらその解決に取り組みます。そのために、入学するまでに、以下の能力を身に付けておくことを求めます。

1. 自分の考えを文章や言葉で表現し、他者の考えを理解するための、基本的な読解力、文章表現力
2. 物理現象や計測データを数学的に表現・分析するための、場合の数と確率、図形の性質、数列、ベクトル、三角関数、指数関数、微積分などの数学的知識
3. センサや情報機器を理解・活用するための、音、光、電磁気、加速度、圧力、などに関する物理・化学の基礎知識
4. 海外の技術や文化を学ぶための、英作文、英文読解、英会話などの英語能力
5. 多様な人々と議論し、新しいアイデアを創出するための、プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力